

九

海軍主計大尉藤井滋外七十一名  
叙位取消及叙位日附変更の件

宗秩家親印



立案 昭和 年 月 日  
決裁 昭和 年 月 日

書記官



昭和五年八月  
海軍省

官内省

海軍

天

海軍主計大尉藤井滋外七十一名叙位取消及  
右謹テ裁可ヲ仰ク

海軍主計



宮内省

五月十八日



海軍主計大尉藤井滋外七十一名叙位取消及  
叙位日附變更の件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和二十一年六月八日

内閣總理大臣 吉田 茂



内閣總理大臣

内閣書記官



内閣事務官



海軍主計大尉藤井滋外七十一名叙位取消及一叙位日附變  
更の件今般義復負大臣から別紙のよほり奏請あり今更不都  
合ではあるが事實を己むを得ないと認めらるるから叙位取消及一叙  
位日附變更上奏をしく良くと思ふ

内閣

内閣人庫 五三八

昭和二十年九月十五日 海軍主計大尉 從七位 兼 海軍少將

右 齊藤 進ノ 海軍少將 兼 海軍主計大尉 昭和二十年三月一日職死

海軍 少將

昭和二十一年五月二十四日

海軍復員大臣 吉田 茂



海軍

内閣人三度名簿 五六六

昭和二十一年九月十五日 海軍技術大尉 第七位 村山 宏

昭和二十一年九月十五日 海軍技術大尉 第七位 伊中 敏 郎

昭和二十一年六月十日、伊中敏郎海軍技術大尉、昭和二十一年九月

九日、海軍技術大尉、伊中敏郎海軍技術大尉、昭和二十一年九月

昭和二十一年五月二十三日

海軍

三九

内閣文庫蔵書印

海軍主計大尉 七位



昭和二十一年九月十五日 海軍主計大尉 七位 門 傳 陸

昭和二十一年九月十五日 海軍主計大尉 七位 限 井 編 編

昭和二十一年九月十五日 海軍主計大尉 七位 雲 一 部 男

石宮各領書ノ通徴位發令相成候處門傳海軍主計大尉、昭  
和十九年九月二十六日、海軍主計大尉、昭和二十年  
三月二日、安海海軍主計大尉、同年五月二十二日、成  
死致候ニ付本徴位取付成候處

海軍

昭和二十一年五月十三日

第二任海軍大臣

吉田

茂



内閣人厚 五月八日

昭和二十年九月十五日  
正七位

海軍主計大尉

從七位

滿

谷

清

昭和二十年九月十五日  
正七位

海軍主計大尉

從七位

中

川

隆

一

石者各回曹ノ副級位是令相成併區島谷海軍主計大尉、昭和二十年二月二十三日、中川海軍主計大尉、同在六月十五日、其亡職死後併ニ付本級位以海相成併區島谷

昭和二十一年五月三十日

海

軍

三月八日  
中川隆一

二厚  
五五二

昭和二十一年八月十五日

海軍少尉

深井 敏之

同

同

山本 猛 郎

同

同

小泉 勲

右者各頭書ノ通知位發令相成候處納セ昭和二十一年十月二十日職死致候ニ付本叙位取消相成度念候

謹テ 奏ス

昭和二十一年九月二十三日

第二機員大臣 吉田



海軍

第二機員大臣

吉田 茂





内閣人屋倉正五凡

昭和二十年八月十五日

海軍少尉

水谷

他

同

同

館

幹夫

同

同

春日

正治

同

同

岩崎

太郎

昭和二十年八月十五日

海軍少尉

杉野

脩

右者各別書ノ到付位發令相成候處水谷、館、春日、岩崎  
海軍少尉ハ昭和二十年六月十四日、杉野海軍少尉ハ同年  
六月十五日孰モ戦死致候ニ付本給位取消相成候處恐懼

海軍

手帳  
手帳  
手帳

調テ 奏ス

昭和二十一年五月二十三日

第二海軍大臣 吉田



大蔵院 子三郎

昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 野々村 八郎

昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 金子 幸三郎

右者各頭書、通達位發令相成候野々村海軍中尉ハ昭和二十年二月十五日、金子海軍中尉ハ同年四月十日孰モ戦死致候ニ付本給位取消相成候事御  
調テ 奏ス

昭和二十一年五月二十四日

海軍

第二復員大臣 吉田



昭和二十年四月二日

海軍中尉 正八位 岩本和夫

同 同 和田超三

同 同 加堂藤次

右者各頭書ノ勲敘位發令相成候處岩本、和田、加堂  
海軍中尉ハ昭和十九年八月十八日孰モ戰死敷候ニ付

本敘位取消相成慶

謹テ 奏ス

昭和二十一年五月二十四日

同	昭和二十年九月十五日	海軍軍醫大尉	從七位	川	同
同	昭和二十年九月十五日	海軍軍醫大尉	從七位	山	同
同	昭和二十年九月六日	海軍軍醫少佐	正七位	吳	同
同	昭和二十年九月十五日	海軍國科特務大尉	從七位	和久田	同

海軍

第二復員大臣 吉田



海軍

昭和二十年九月十五日 海軍軍醫大尉 從七位 片山 嘉一郎

昭和二十年九月十六日 海軍軍醫少佐 正七位 新藤 英夫

昭和二十年九月十五日 海軍軍醫大尉 從七位 三好 善正

昭和二十年九月十五日 海軍陸科醫大尉 從七位 櫻井 宗毛

昭和二十年九月十五日 海軍軍醫大尉 從七位 長島 水

昭和二十年九月十五日 海軍軍醫中尉 正八位 平野 武

昭和二十年九月十五日 海軍軍醫大尉 從七位 櫻井 正美

昭和二十年九月十五日 海軍軍醫大尉 從七位 宇村 修吾

昭和二十年九月十五日 海軍軍醫大尉 從七位 宇村 修吾

昭和二十一年五月二十五日

海軍

昭和二十年七月二日 海軍中尉 正八位 渡邊 弘

昭和二十年七月二日 海軍中尉 正八位 藤田 春男

昭和二十年七月二日 海軍中尉 正八位 博多 真一郎

同 同 岡田 博文

昭和二十年七月十五日 海軍中尉 正八位 有澤 全一 知

第二復員大臣 吉田

茂



新昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 峯重 勉 海軍

新昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 矢野 昇

新昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 澤田 忠 數

新昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 田中 晋 諒

新昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 緒方 正義

右者各頭書ノ通新位發令相成候處其邊海軍中尉ハ昭和十

九年十二月九日、藤田海軍中尉ハ同年十二月二十日、博  
多、岡田海軍中尉ハ昭和二十年一月十三日、有澤海軍中  
尉ハ同年三月三十日、峯重海軍中尉ハ同年四月二十日、  
矢野海軍中尉ハ同年四月二十三日、澤田海軍中尉ハ同年  
五月十五日、田中海軍中尉ハ同年六月十九日、緒方海軍  
中尉ハ同年七月二十五日孰モ戰死致候ニ付本新位取消相

庶度悉御

謹テ 奏ス

昭和二十一年五月十八日

二復 五九四號

昭和二十年八月十五日

海軍少尉

松崎敏郎

右者頭書ノ通紙位發令相成候處昭和十九年十月三十一日  
戰死致候ニ付本紙位取消相成度恐懼

謹テ 奏ス

昭和二十一年五月二十六日

第二復員大臣 吉田



第二復員大臣 吉田

海軍





二復 五九六

昭和二十年八月十五日

海軍少尉

石崎 一 郎

右者圖書ノ遺令位發令相成候處昭和十九年十二月三十一日  
日職死致候ニ付本給位取消相成候處悉備

離テ 奏ス

昭和二十一年五月二十六日

第二復員大臣

若

田



海

軍

海

軍

昭和二十年 四月二日 海軍中尉 正八位 永尾 武士

昭和二十年 九月十五日 海軍中尉 正八位 小松 靖夫

右者各頭書ノ通給位發令相成候處永尾海軍中尉ハ昭和二十年一月三日、小松海軍中尉ハ同年五月二十日孰モ戰死

致候ニ付本給位取消相成候處恐懼

謹テ 奏ス

昭和二十一年五月二十日

海軍

二復

七ノ七

昭和二十年九月十五日

海軍中尉

正八位

田

中

文次郎

右者頭書ノ通終位發令相成候處昭和二十年四月二十日戰死  
致候ニ付本終位取消相成度恐懼

謹テ 奏ス

昭和二十一年五月二十八日

海軍大臣

吉

田



海軍大臣

吉

田



附録二十一 九月十五日  
正八位 久 高 明  
若志 國 志 司 教 位 考 志 國 志 國 志 附 録 二 十 一 年 六 月 二 十 日  
廣 德 寺 願 心 社 本 教 院 取 得 願 心 院 授 書  
...

附録二十一 五月二十八日

第二編 頁八四 吉 山



海 軍

慶應 二 十 九 月 十 五 日 津 田 正 八 位 岩 田 源 次 郎

慶應 二 十 九 月 十 五 日 津 田 正 八 位 磯 田 源 次 郎

慶應 二 十 九 月 十 五 日 津 田 正 八 位 磯 田 源 次 郎

慶應 二 十 九 月 十 五 日 津 田 正 八 位 磯 田 源 次 郎

慶應 二 十 九 月 十 五 日 津 田 正 八 位 磯 田 源 次 郎

每 戶 一 圓

Blank lined area with faint vertical lines and red border.

10  
20

昭和二十一年九月十五日  
海軍中尉 正八位 緒 方 正

昭和二十一年九月十五日  
海軍中尉 正八位 武 藤 文 三

昭和二十一年九月十五日  
海軍中尉 正八位 澤 木 迪 良

昭和二十一年九月十五日、  
海軍中尉、同年十月二十五日、  
海軍中尉、同年四月十八日、  
緒 方 正

昭和二十一年九月十五日、  
海軍中尉、同年四月十八日、  
緒 方 正

昭和二十一年九月十五日、  
海軍中尉、同年四月十八日、  
緒 方 正

昭和二十一年五月二十九日

第二機隊大佐 吉 田



海 軍

昭和二十一年九月十五日  
正 七  
右記帳簿ノ複製件等  
昭和二十一年二月二十八日  
昭和二十一年五月九日

昭和二十一年五月九日

第二機材大田 吉 出



海

軍

昭和二十年九月一日 海軍中尉 正八位 太田 洋之

昭和二十年八月十五日 海軍少尉 松岡 重 治

右者各員等ノ海軍位階令相成候様太田海軍中尉ハ昭和二十年三月十七日、松岡海軍少尉ハ同年六月八日戦死ニ付本位階取消相成候様

請テ 添ニ

昭和二十一年五月二十九日

海軍



内閣  
三度  
文書

昭和二十年九月十五日  
正七位 海軍軍醫大尉 從七位 内山 敬道

右者 賜書ノ 通被位 變令相成 候 昭和二十年八月十日 戦死  
致候ニ付テハ 本被位 取消相成 候 趣 奉 遣

通テ 奉 遣

昭和二十一年五月三十一日

第二復員大臣 吉田 茂



第二復員大臣 吉田



大 二 三 五

昭和二十年九月十五日 海軍主計大尉 從七位 伊 藤 孝

右者頭書ノ通敍位發令相成候處昭和十九年十二月十七日  
戰死致候ニ付本敍位取消相成度懇懼

通テ 奏ス

昭和二十一年五月三十日

第二復員大臣 吉 田



海軍省 官

内  
復  
五九三

[Faint handwritten text in vertical columns, mostly illegible]

昭和二十年五月十一日 海軍中尉 正八位 敏 雄

右者頭書ノ通特殊進級ニ對スル相當位トシテ給位發令相  
由候處今般佐穂シアルコト判明致候ニ付本給位取消相  
度恐懼

謝テ 奏ス

昭和二十一年五月十六日

第二復員大臣

吉 田



海 軍

Faint vertical text in the right-hand column, likely bleed-through from the reverse side of the page.

昭和二十一年六月四日  
海軍軍醫少佐 正七位 木村 肇  
右者 野宮人 通 叙位 適合 叙 處 今 叙 昭和二十一年六月十  
六日 叙 位 七 位 十 到 叙 處 二 付 予 本 叙 位 日 附 與 正 期  
成 叙 處 權

謹 予 奏 文

昭和二十一年五月二十五日

第二復員大臣

吉田

茂



海 軍

昭和二十一年四月五日  
叙任 六 位 兼 准 少 将 正 七 位 大 石 廣

石 廣 國 務 人 通 叙 位 授 命 叙 任 兼 准 少 将 正 七 位 大 石 廣  
昭和二十一年四月三日  
叙任 六 位 兼 准 少 将 正 七 位 大 石 廣

藤 子 妻 又

昭和二十一年五月二十五日

第二役員大臣 吉 田



海 軍

三原院 三原

昭和二十年四月十七日 山本忠治

右者 戦死ノ無職死 殊進級 在官位トシテ 發布相成候 昭和二十年四月十六日 戦死 致候モノナルコト 判明 致候ニ付 本位 官階 更正 相成 度 至 禮

請テ 奏ス

昭和二十一年五月二十四日

第二復員大臣 吉田



海軍

昭和十九年五月十三日

昭和十九年五月十一日 海軍生計少佐 正七位 中 村 幸 男

右者 瑞穂ノ海軍陸進級ニ對スル相當位トシテ 級位登合相

成候處 今般生存シアルコト判明致候ニ付 本級位取消相成

度 恐懼

薄テ 察ス

昭和二十一年五月十三日

第二復員大臣

吉田 茂



海

軍

内閣  
二層  
五五〇

昭和十九年六月十五日  
位 六

海軍王冠少佐 正七位 五十嵐 國 樹

昭和二十年六月四日  
位 六

海軍王冠少佐 正七位 石 澤 久 麻

石澤各回書ノ謝意位等付相成候處、  
昭和十九年六月十二日、石澤海軍少佐、  
昭和二十年七月二十三日、  
位日付更正相成候處、

昭和二十年五月三十日

海軍

昭和二十年五月三十日



第二卷 天位

吉田

茂



内  
三原  
五五  
三

昭和二十一年四月二十二日  
石谷 昭一 通 級位 令 相 以 候 地 今 夜 明 到 二 十 年 四 月 二 十  
五 日 晚 休 七 十 十 判 明 交 候 二 付 一 本 級 位 日 明 也 正 相 候  
定 候 也

昭和二十一年五月二十三日

第二卷 天位

吉田



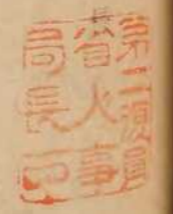
五月 和二十 八日	四月 和二十 四日	三月 和二十 九日	二月 和二十 五日	南	十一月 廿一日	十一月 廿七日	八月 十九 日
比	冲	七	比	同	大	南支 島	大
馬	繩	局	馬	同	同	同	同
海軍 軍醫 少佐	海軍 軍醫 少佐	海軍 軍醫 少佐	海軍 軍醫 少佐	同	海軍 軍醫 少佐	海軍 軍醫 少佐	海軍 軍醫 少佐
復	三	新	片	泉	山	山	山
本	好	藤	山	谷	崎	本	本
定	幸	英	島	切	和	康	一
美	正	夫	一 郎	功	能	之	郎


昭和二十一年六月十一日	沖	海軍省醫大尉	杉	島	水
昭和二十一年六月十二日	比	海軍省醫中尉	平	野	晏
昭和二十一年六月十五日	沖	海軍省醫大尉	櫻	正	美
昭和二十一年六月二十日	同	海軍省醫大尉	櫻	正	美
昭和二十一年六月二十日	同	海軍省醫大尉	櫻	正	美

昭和二十一年五月二十四日

内閣官房人権課長 殿

第二復員省人権課長



地位取消ニ關スル件西條

五月廿二日復員省人権課長殿 地位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ西條ノ通

今大戦中作戦従軍中戦死致候處通信連絡遅延ノ爲戦死報告地位取消後十

記

昭和二十一年三月一日 沖繩方面戦死 海軍省計大尉 櫻 其  
 (昭和二十一年八月三十一日 海軍省計大尉 衣笠 賢外六百八十六名由十二枚日表)

(終)

省火事  
局長印

西門有...

錄位取...

廿三日二級秘人...  
今次...  
...

四和三十...  
...

...

(終)

昭和二十一年五月二十三日

内閣官房人事課長 殿

第二任日省人選



叙位取消ニ關スル件照會

五月二十日二親町人選二十六人

今次戦争作戦従軍中歿去職死致傷感遺信連絡遅延、爲戦死報告叙位停止、  
十月十九日二十有之條條取消方叶然取付相成度

記

昭和十九年九月二十六日 内南洋方面戦死 海軍三計大尉 門 傳 辯  
(昭和二十年八月三十一日選定海軍人選二三七三陸海軍三計大尉衣笠 留外六百八拾六名中二十七枚百裏)

昭和二十年三月二日 比島方面戦死 海軍三計大尉 隈 井 淵 國  
(昭和二十年八月三十一日選定海軍人選二三七三陸海軍三計大尉衣笠 留外六百八拾六名中二十七枚百裏)

昭和二十年五月二十二日 比島方面戦死 海軍三計大尉 安 隆 邦 國  
(昭和二十年五月二十二日 比島方面戦死 海軍三計大尉 安 隆 邦 國)

十六枚目表  
(終)

昭和二十一年六月二十三日

内閣官房大臣官房長官

第二〇四号

省人長官

鐵道省 第三〇四号

五月二十三日 鐵道省 第三〇四号

今次鐵道省 第三〇四号 鐵道省 第三〇四号 鐵道省 第三〇四号

昭和二十一年六月二十三日 鐵道省 第三〇四号

昭和二十一年六月二十三日 鐵道省 第三〇四号

(一)

十六日

昭和二十一年五月二十三日

第二復員省人等

高長司

内閣官房人等課長 殿

叙位取消ニ關スル件照會

五月二十三日二復員省人等第二五六號叙位取消ノ件上奏相成候左出ノ右ハ合頭書ノ通今次  
戰事作戰從事中戦死致候處通信連絡遅延ノ爲戦死報告叙位取消後トナリタルモノ  
ニ有之候該取消可然取計相成候

昭和二十一年十月二十日 御印方面 戦死 海軍少尉 深井 敏之  
(昭和二十一年八月八日進達海軍人第一八七三號海軍少尉 除本件以外二十七日十四名中八枚日衣)

(右) 同 同 同 山 本 猛 二十一 日 衣 勝

(左) 同 同 同 小 永 四十八 枚 日 衣 勝

(終)

内閣官房人年表長

第二編 官省人年表



各位取消ニ關スル件照會

五月廿三日二復秘人第一六〇號各位取消ノ件上奏料取消左記ノ者ハ各別書ノ通今ノ  
戰爭作戦從事中ノ秘人ニ關シテ係屬ノ通信連絡運送ノ爲取消候旨於位發令候下ナリカ  
モノニ有之候様取消方可然取消候旨

(昭和二十年六月十四日) 沖繩方面 磯元 海軍少尉 水谷 幹夫 (百三十一枚目表)

(昭和二十年八月八日) 津浦海軍第一八七三號海軍少尉 松本 伸 松本 伸 松本 伸 (百三十一枚目表)

(昭和二十年八月八日) 津浦海軍第一八七三號海軍少尉 松本 伸 松本 伸 松本 伸 (百三十一枚目表)

(昭和二十年八月八日) 津浦海軍第一八七三號海軍少尉 松本 伸 松本 伸 松本 伸 (百三十一枚目表)

(昭和二十年八月八日) 津浦海軍第一八七三號海軍少尉 松本 伸 松本 伸 松本 伸 (百三十一枚目表)



内閣官房人壽局長

給位取消ニ關スル件則也

五月二十四日二復務人第二九八號給位取消ノ件上奏相印候左記ノ者ハ全頭書ノ相令  
次職事作職從中執モ職死致候處遺信ヲ落選更ノ旨職死報告給位發令仰トナリ  
タルモノニ右之候相取消方可然取計相成候

記

昭和二十年二月十五日 クラーク方面 職死 海軍中尉 野々村 八郎  
(附録二十) 八月三十日 海軍大尉 平瀬 榮次 二十七十九名中六十四松目夏  
昭和二十年 四月十日 ルソン島方面 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
金 子 三 郎  
五十九夜目裏

(終)

局長

内閣官房大專課長 殿

第二復員省人專局

高長印

敍位取消ニ關スル件照會

五月二十四日二復秘人第一二〇四號敍位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ各頭書ノ通大東亞戰爭作戰從事中孰モ戰死致候處通信連絡遲延ノ爲戰死報告敍位發令接トナリタルモノニ有之候條取消方可然取計相成慶

記

昭和十九年八月十八日 内南洋方面戰死 海軍中尉 岩本 和夫  
(昭和二十年三月十九日進達海秘人第六六一二號海軍大尉池田佐重以下千百五十一名中五十七枚目裏)

同 (右) 同 同 和田 超 三 五十八枚目表)

同 (右) 同 同 加 藤 次 五十八枚目裏)

(終)

内閣官房人事課長

省人事局長

五月五日

被檢取所ニ関スル事  
再々通水取職作被從山職去被檢取所ニ送付セラルル事  
被檢取所ニ送付セラルル事  
被檢取所ニ送付セラルル事

昭和十九年八月十一日  
昭和十九年八月三十一日  
昭和十九年八月三十一日  
昭和十九年八月三十一日

昭和十九年八月十一日  
昭和十九年八月三十一日  
昭和十九年八月三十一日  
昭和十九年八月三十一日

昭和十九年八月十一日  
昭和十九年八月三十一日  
昭和十九年八月三十一日  
昭和十九年八月三十一日

昭和十九年八月十一日  
昭和十九年八月三十一日  
昭和十九年八月三十一日  
昭和十九年八月三十一日

昭和十九年八月十一日  
昭和十九年八月三十一日  
昭和十九年八月三十一日  
昭和十九年八月三十一日

昭和十九年八月十一日  
昭和十九年八月三十一日  
昭和十九年八月三十一日  
昭和十九年八月三十一日

昭和十九年八月十一日  
昭和十九年八月三十一日  
昭和十九年八月三十一日  
昭和十九年八月三十一日

昭和二十年十二月三十一日 功  
昭和二十年十二月二十五日 功  
昭和二十年十二月十九日 功  
昭和二十年十二月十三日 功  
昭和二十年十一月二十五日 功  
昭和二十年十一月十九日 功  
昭和二十年十一月十三日 功  
昭和二十年十一月七日 功  
昭和二十年十一月一日 功  
昭和二十年十月二十五日 功  
昭和二十年十月十九日 功  
昭和二十年十月十三日 功  
昭和二十年十月七日 功  
昭和二十年十月一日 功  
昭和二十年九月二十五日 功  
昭和二十年九月十九日 功  
昭和二十年九月十三日 功  
昭和二十年九月七日 功  
昭和二十年九月一日 功  
昭和二十年八月二十五日 功  
昭和二十年八月十九日 功  
昭和二十年八月十三日 功  
昭和二十年八月七日 功  
昭和二十年八月一日 功  
昭和二十年七月二十五日 功  
昭和二十年七月十九日 功  
昭和二十年七月十三日 功  
昭和二十年七月七日 功  
昭和二十年七月一日 功  
昭和二十年六月二十五日 功  
昭和二十年六月十九日 功  
昭和二十年六月十三日 功  
昭和二十年六月七日 功  
昭和二十年六月一日 功  
昭和二十年五月二十五日 功  
昭和二十年五月十九日 功  
昭和二十年五月十三日 功  
昭和二十年五月七日 功  
昭和二十年五月一日 功  
昭和二十年四月二十五日 功  
昭和二十年四月十九日 功  
昭和二十年四月十三日 功  
昭和二十年四月七日 功  
昭和二十年四月一日 功  
昭和二十年三月二十五日 功  
昭和二十年三月十九日 功  
昭和二十年三月十三日 功  
昭和二十年三月七日 功  
昭和二十年三月一日 功  
昭和二十年二月二十五日 功  
昭和二十年二月十九日 功  
昭和二十年二月十三日 功  
昭和二十年二月七日 功  
昭和二十年二月一日 功  
昭和二十年一月二十五日 功  
昭和二十年一月十九日 功  
昭和二十年一月十三日 功  
昭和二十年一月七日 功  
昭和二十年一月一日 功

内閣官房人事課長 殿

終位取消ニ關スル件照會

本月二十八日二夜秘人第... 終位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ各頭喜ノ通今  
或時等作戦從事中凱毛戰死致候事通信連絡遅延ノ爲戰死報告終位發令後トナリ  
タ九モノニ有之候條取消方可然取計相成度

記

昭和十九年十二月九日 臺灣方面 戰死 海軍中尉 邊 一 名中二十三枚目裏  
(昭和二十年三月十九日 滿洲海軍第六六二號海軍大尉 池田佐重以下千七百五十一名中二十三枚目裏)  
昭和十九年十二月二十日 比島方面 戰死 海軍中尉 藤 田 春 一 名中二十一枚目表  
(右 同)  
昭和二十年一月十三日 同 同 同 多 一 名中四十枚目裏  
(右 同)  
昭和二十年三月三十日 南西諸島方面 戰死 海軍中尉 田 博 一 名中四十三枚目裏  
(昭和二十年八月三十日 南洋方面 戰死 海軍中尉 田 博 一 名中四十三枚目裏)

局長 印

(右) 昭和二十年五月十三日

(右) 昭和二十年五月十五日

(右) 昭和二十年六月十九日

(右) 昭和二十年七月二十五日

同

同

同

同

澤

田

緒

緒

十一枚目裏

二十七枚目裏

二十六枚目裏

十三枚目裏

(終)

終位取消ニ關スル件照會

五月二十一日二復秘人第二二七號終位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ頭書ノ通奉ニ  
戰争作動從事中戰死致候處通信連絡遅延ノ爲戰死報告終位發令後トナリタルモ  
ノニ有之候條取消方可然取計相成度

記

昭和十九年十月三十一日 比島方面 戦死 海軍少尉 松 附 敏  
昭和二十年八月八日 彦達海秘人第一八七三號海軍少尉 陸本 伸 附 外 一千二百七十四名中六十三枚目表

(終)

明治二十一年五月二十六日

内閣官房人取調書

第二役員名人取調書

高橋 長三

辭位取消ニ關スル件照會

五月十二日 日二復強人第一三三號 辭位取消ノ件上奏相成候左記ノ旨ハ頭書ノ通令次  
職等件員從事中職死致候候通信ヲ繕進延ノ爲職死事旨辭位發令後トナリタルモ  
ノニ有之候條取消可候取計相成度

昭和十九年十二月三十一日 此局方面  
昭和二十年八月八日 葬進海軍人第一八七三號 葬進少尉 本仰計外一千二百七十四名中七十四名

(終)

則

内閣官房人事課長

第二復員省人事局長

局長

地位取消ニ關スル件照會

五月十一日二復員省第二〇四號地位取消ノ件上奏相候左記ノ者ハ各頭書ノ通  
今次戦争作戦從事中孰モ戦死致候處通信連絡遲延ノ爲戦死報告各位發令後ト  
ナリタルモノニ有之候條地位取消方可然取計相候度

記

昭和二十年一月三日 比島方面 戦死 海軍中尉 永尾 武士

(昭和二十年三月十九日進達海秘人第六六二號海軍大尉池田佐重以下千五百五十一名中四十三名目表)

(昭和二十年五月二十日 同) 小松 夫

(昭和二十年八月三十日進達海秘人第二三七〇號海軍大尉平瀬親榮外二千七十九名中八十九名目表)

(終)



昭和二十一年五月二十八日

内閣官房人事課長

第二種員省人事

高長三

轉位取消ニ關スル件照會

五月二十八日二復秘人第一三五三號余位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ頭書ノ通令次  
戰事作戦從事中戦死致候候處通信連絡遲延ノ爲戦死報告發位發令後トナリタルモ  
ノニ有之候條取消方可然取計相成度

記

昭和二十年四月五日 比島方面 戦死 海軍中尉 田中 文次郎  
昭和二十年八月三十日 進達海秘人第一三七〇號海軍大尉牛瀬毅 外二千七十九名中八枚目表

(終)

五月二十八日

省人署  
高長司

五月二十八日

同日... (faint vertical text)

同日... (faint vertical text)

(一)

高長印

五三十九

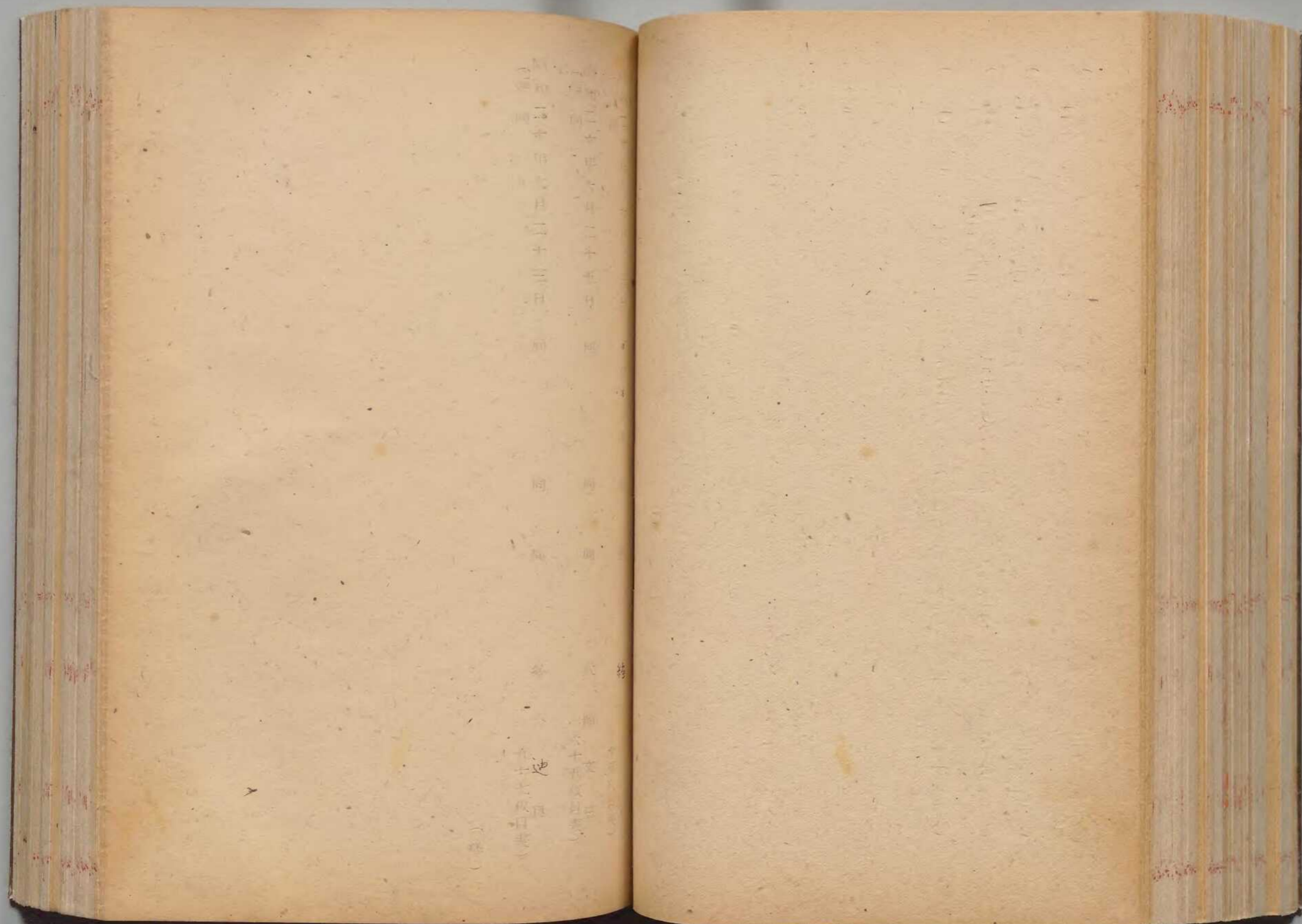
五月二十九日... 三六... 以上...

四月二十九日... 八月... 以下...

三月二十九日... 二十五... 以下...

二月二十九日... 二月... 以下...

一月二十九日... 十月... 以下...



一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

五月二十九日

高長印

五日

五月二日... 五月三日... 五月四日... 五月五日... 五月六日... 五月七日... 五月八日... 五月九日... 五月十日... 五月十一日... 五月十二日... 五月十三日... 五月十四日... 五月十五日... 五月十六日... 五月十七日... 五月十八日... 五月十九日... 五月二十日... 五月二十一日... 五月二十二日... 五月二十三日... 五月二十四日... 五月二十五日... 五月二十六日... 五月二十七日... 五月二十八日... 五月二十九日... 五月三十日...

五月二十三日... 五月二十八日... 五月三十一日... 六月一日... 六月二日... 六月三日... 六月四日... 六月五日... 六月六日... 六月七日... 六月八日... 六月九日... 六月十日... 六月十一日... 六月十二日... 六月十三日... 六月十四日... 六月十五日... 六月十六日... 六月十七日... 六月十八日... 六月十九日... 六月二十日... 六月二十一日... 六月二十二日... 六月二十三日... 六月二十四日... 六月二十五日... 六月二十六日... 六月二十七日... 六月二十八日... 六月二十九日... 六月三十日...

(一)

昭和二十一年八月二十九日

内閣官制、及後

第二種員、大  
省人、事  
局長、印

五、日、九、日、二、理、人、情、之、不、解、故、取、消、ノ、部、上、美、相、成、論、左、部、ノ、等、ハ、各、項、書、ノ、所、  
次、國、會、性、職、能、中、以、其、死、致、後、接、續、通、信、之、終、止、ノ、理、由、死、者、皆、理、由、成、立、後、各、ト、テ、リ  
タ、ル、云、ノ、二、部、之、理、由、成、立、可、以、取、消、相、成、度、

昭和二十一年三月十七日 疏  
萬、方、面、死、海、軍、中、將、太、田、之、  
（昭和二十一年二月二十八日）  
三、復、命、人、七、五、〇、我、國、軍、中、將、野、子、代、達、外、國、十、三、名、中、一、枚、日、語、

（昭和二十一年八月八日）  
印、南、万、里、回、り、松、山、外、三、千、二、百、六、十、四、名、中、百、九、十、九、日、語、

(終)

昭和二十一年五月三十一日

第二復員省人事

第二復員省人事局長 高長

内閣官房人事課長

被位取消ニ關スル件照會

五月三十一日二復員省第一三〇四號被位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ明基ノ  
通今次戦争作戦従軍中戦死致候處運信連絡遅延ノ爲戦死報告被位發令後  
トナリタルモノニ有之候條取消方可然取計相成候

記

昭和二十年八月十日 比島方面戦死 海軍軍医大尉 内山 敬 道  
(昭和二十年八月三十一日進達被位第一三二七二號海軍軍医大尉作藤隆典外八百五拾三名中十枚日表)

( 終 )

二復人員局技師第一百號ノ二九二

昭和二十一年五月三十一日

第二復員省人專局

第一復員省人專局  
局長印

内閣官房人專課長 殿

綏位取消ニ關スル件照會

五月三十一日二復秘人第一三八ノ號綏位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ願書ノ

通今次戰爭作戦從軍中戦死致候處通信連絡延々ノ爲戦死未綏位發令候  
トナリタルモノニ有之候條取消可然取計相成度

記

昭和十九年十二月十七日ニ支那沿岸戦死 海軍主計大尉 伊藤 藤 孝  
(昭和二十年八月三十一日進軍海軍秘人第二三三七三號海軍主計大尉衣笠 賢外六百八拾六名中三十枚目表)

(終)



昭和二十一年五月十六日

内閣官房人事課長 殿

第二復員省人事局長

給位取消ニ關スル件照會

五月十六日 第二復員省人事局長殿  
ラレアリシ處終戦後生存シアルコト判明今般内地ニ歸着シタルニ付前記特殊進  
給取消相成候様本給位取消方可然取計相成度

海軍中尉 飯 井 敏 雄 (昭和二十一年一月二十四日進達)

(終)

昭和二十一年六月五日

内閣府 人事課長

第二任 省人

高長 人事

叙位日附更正ニ關スル件附

五

月三十一日

二視察人附三三六

叙位日附更正ノ件ニ關スル件附

ハ前書ノ日附ヲ以テ戦死ト認定同日附叙位日附更正ノ件ニ關スル件附  
記號ノ日附ヲ以テ戦死シタルノ件ニ關スル件附  
附更正方可然御取計相成度

昭和二十一年六月四日  
(昭和二十一年二月二十五日連達二復第人第四四九號)

木村

榮

(終)

昭和二十年六月十六日 終 本 村

昭和二十年六月十六日 終 本 村

昭和二十一年一月二十四日進達ニ復秘人オ四一七号

昭和二十一年一月二十四日進達ニ復秘人オ四一七号

局長

昭和二十一年一月二十四日進達ニ復秘人オ四一七号

昭和二十一年一月二十四日進達ニ復秘人オ四一七号

(一)

昭和二十年四月三日戦死  
海軍軍醫少佐 大石

(終)

明治二十一年五月二十四日

内閣官房人等

第二十七員省人等

省長印

各日附更正二圖スル件照會

五月二十四日二復秘人第二九七號日附更正ノ件上奏相成候左記ノ者ハ昭和二十  
年四月十七日殿死日附位登令相成候其ノ後調査ノ結果令取調等四月十六  
日殿死之ルコト判明致候ニ付位登令日附更正方可然取計相成候

記

昭和二十一年四月十六日 海軍中尉 山本 泰一  
昭和二十一年二月二十日 海軍中尉 松外八名中

(終)

昭和二十一年五月二十三日

内閣官房人権部長 殿

第二復員省人権課長

高橋 実 印

叙位取消ニ關スル件照會

五月二十三日 二復員省人権二文。叙位取消ノ件上、宰相成候左記ノ旨ハ昭和十九年十月一日敕諭同日海軍主計少佐ニ進級之ニ對スル相賞位トシテ同日附從六位發令相成候處石ハ終戦ニ伴ヒ生存シテルコト判明シタルニ付、前記等殊進級取消相成候條本叙位取消可然編取計相成候

海軍主計少佐 中 村 榮 男 (昭和二十一年一月二十四日進級) 二復員省人権四三〇號

(終)

昭和二十一年五月二十日

内閣府 官制課長

省長印

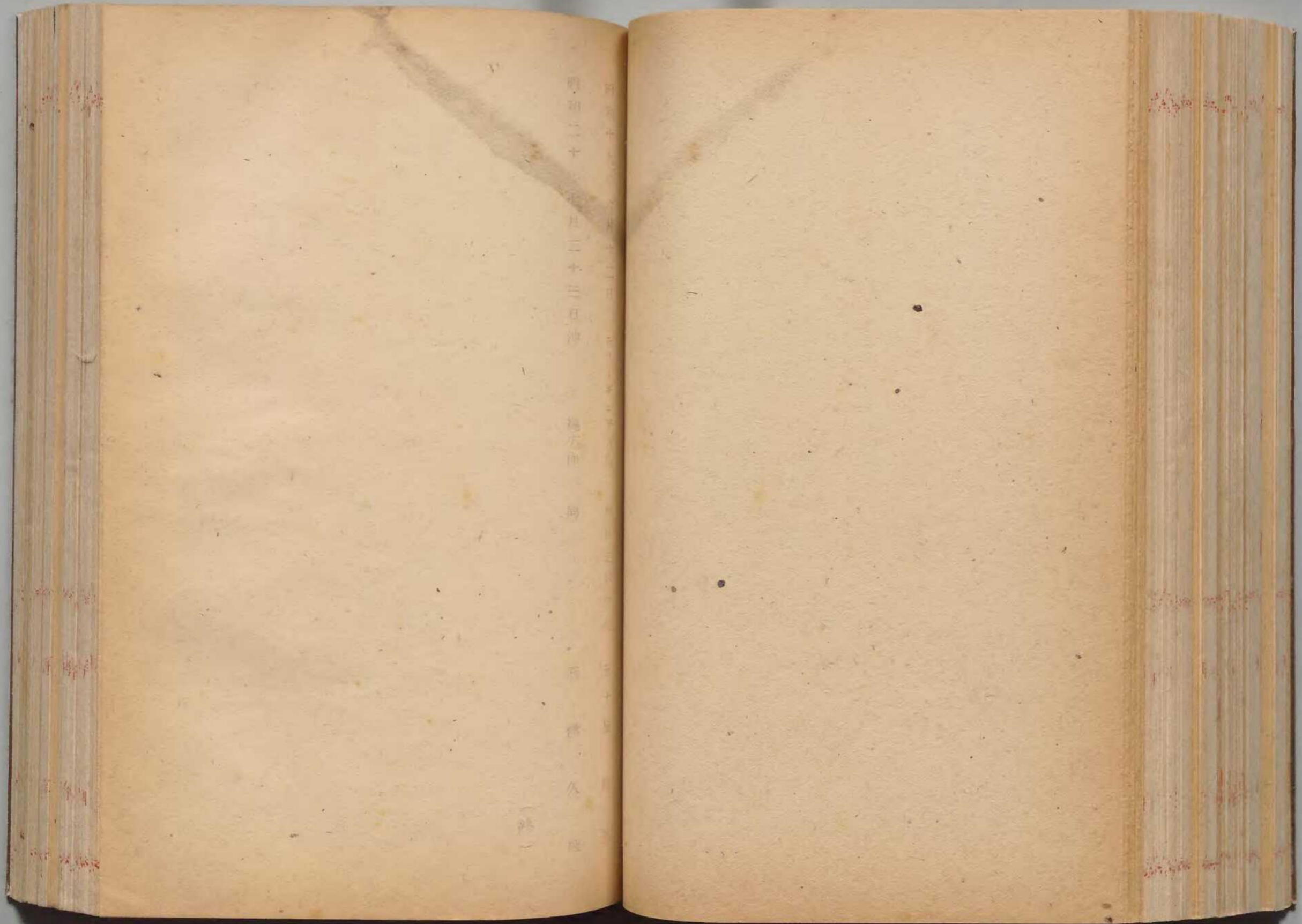
五月二十日

二、復核人等二八。...

昭和二十一年六月十九日

昭和二十一年六月四日





明和二十  
月二十三  
日  
梅  
九  
日  
同  
百  
一  
日  
久  
一  
日

五 二十三日

...

省長印

五

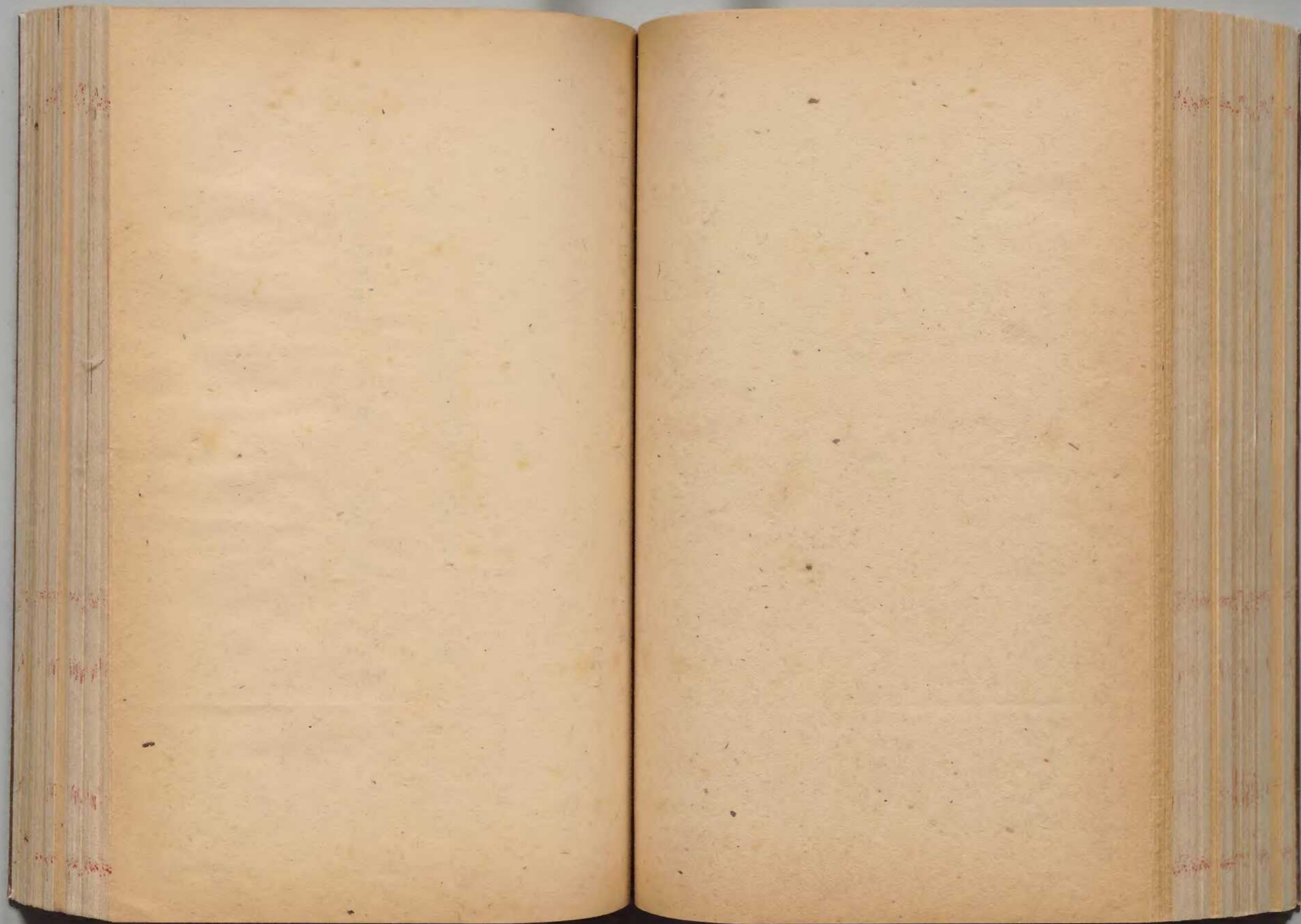
二十三日

...

...

...

( )



二海軍人壽一〇九八號

昭和二十一年五月二十四日

第二復員大臣

吉田

茂



内閣總理大臣

吉田

茂殿

海軍主計大尉藤井滋樹位取消ノ件別紙上奏書送達ス

(終)

海

軍

官  
報

二條公人第一一五三

西曆二十一年五月三十日

第二條員大臣

陸軍大臣

海軍大臣



海  
軍

二河橋人藏 二六七

昭和二十一年五月廿三日

第二役員大臣

吉田

茂



内閣總理大臣

吉田 茂 殿

海軍主計大尉門健 送外二名取付取附ノ件別紙上表書  
進達云

海

軍

(終)

三田大進

五月二十一日

第二世目次

吉田 茂

吉田

茂



Vertical text in the left margin, including the characters '海' and '軍'.

海

軍

二復秘入第一五六一

昭和二十一年五月二十三日

第二復員大臣 吉田

内閣總理大臣 吉田 茂

海軍少尉深井敏之介二名私位取消ノ并別紙上奏書送達ス

(抄)



海

軍



二 内閣大臣第一ノ水。號

昭和二十一年五月二十三日

第二機員大臣 吉田



内閣總理大臣 吉田 茂

加取少尉水谷 兼外田名倉位取道ノ件別紙上表書送達ス

(終)

海

軍

二復私入第一一九二號

昭和二十一年五月二十四日

第二復員大臣 吉田



内閣總理大臣 吉田 茂 殿

海軍中尉野々村八郎外一名銜位取消ノ件別紙上奏書並送

海軍

二復秘人第一二〇四號

昭和二十一年五月二十四日

第二復員大臣

吉

田



内閣總理大臣

吉

田

茂

海軍中尉岩本和夫外二名紋位取消ノ件別紙上奏書進達ス

(終)

二復録人馬一三三九

昭和二十一年五月二十五日

二復録人馬

吉田

茂



内閣總理大臣

吉田

田

茂

海軍省  
海軍大臣  
吉田茂  
海軍省  
海軍大臣  
吉田茂

海

軍

二復秘 人第ノ三四七號

昭和二十一年五月二十八日

第二復白大臣 考



内閣總理大臣

考

殿

海軍中尉渡邊 弘外九名終位取消ノ件別紙上奏書進達ス

(終)

二復秘人第一二七

昭和二十一年五月十六日

第二復員大臣 菅田



内閣總理大臣 菅田 茂

海軍少尉松崎敏郎敘位取消ノ特別紙上差書送達ス

(終)

海軍

二復秘人第ノ一ノ一

昭和二十一年五月二十六日

第二復員大臣

告

田



内閣総理大臣

告

田

成

殿

海軍少将石坂一朗翁位取消ノ件別紙上奏旨進達ス

(終)

海

軍

二復秘人第一二三四

昭和二十一年五月廿六日

第二復員大臣

吉田



内閣総理大臣

吉田

海軍大臣永尾武吉外一名然位取消ノ件別紙上奏書進達ス

(終)

海

軍



二復秘人第一三五二號

昭和三十一年五月二十八日

第二復員大臣 吉田



内閣總理大臣 吉田 茂

海軍中將田中文次郎銜位取消ノ件別紙上奏書進達ス

(終)

海

軍

二親為人 一三五

五月二十八日

吉 出



吉 出

Faint vertical text on the left side of the page.

海 區

二號大略一六六一號

昭和二十一年五月二十九日

第二復員大臣 吉



内閣總理大臣 吉田 茂

自本中野律田 係外七名並立取消ノ件州試上奏書送達ス

( )

海

軍

二〇〇〇年十一月九日

十一月九日

吉



吉

Faint vertical text on the left side of the page, possibly bleed-through or a list of names.

海

軍

二重役人員ノシテ

昭和二十一年五月十九日

第二復員大臣 吉田



内閣總理大臣 吉田 茂 殿

海軍省所屬太田博之八一名發給取消ノ件別紙上表等送達ス

(終)

海

軍

215.8

二復賜人第一三八四號

昭和二十一年五月三十一日

第二復長大臣

吉

凶

茂



内閣總理大臣

吉

凶

茂

吉

本重正醫大尉内山敬道被檢取前ノ件別紙上ニ書准遷云

(終)

二復秘人憑 一三八ノ 號

昭和二十一年五月二十一日

第二復員大臣 吉田



内閣總理大臣 吉田 茂 殿

海軍主計大尉伊藤 孝 職位取消ノ件別紙上奏書進達ス

(終)

二復秘人第 二二五號

昭和二十一年五月廿一日

第二復員大臣

吉田



内閣總理大臣

吉田

海軍中將飯井敏雄終位取消ノ件別紙上奏書進達ス

(終)

海

軍

海

軍



二復人第1336號

昭和二十一年五月二十五日

第二復員大臣 吉田

茂



内閣總理大臣 吉田 茂

海軍軍令部令 本府 奉 命 以 日 前 更 止 ノ 件 關 於 上 記 之 事  
謹 示

海 軍 令

二行部入部一三三田

昭和二十一年五月二十五日

第二復員大臣 吉田



内閣總理大臣 吉田 茂 敬

海軍大臣少佐大石 廣 敬 白 閣 更 正 ノ 件 列 裁 上 參 照 進 達

海軍 軍

( 終 )

二復勅人第 二九七

昭和二十一年五月二十四日

第二復員大臣 吉田



内閣總理大臣 吉田

海軍中尉山本忠治終戦日附修正ノ件別紙上奏書進呈ス

(抄)

海

軍

二復紙人請 一七〇 陸

昭和二十一年五月十三日

第二復員大臣

吉田

茂



内閣總理大臣

吉田茂殿

海軍主計少佐 佐田村 延男 茲位 取付ノ 件 別紙 上 奉 呈 進 理 ス

(終)

海

軍

二八〇

明和二十一年五月二十三日

吉田茂

吉田

茂



所到修程大

吉田

茂

九通生計少極其十風國典介一第夜修日可世也人任其職上

革

二〇〇八

五月二十三日

二〇〇八

吉

田



田

田

( )

海

軍

立憲昭和年月日  
決裁昭和年月日

陸軍省



陸軍大尉川原欣三外七十一名叙位取消並叙位日附変更の件

昭和五十六年  
陸軍省  
月 日

官 内 省